

(P.xx) は、計画素案の該当ページを示す。

第 1 章 計画の基本的な考え方

1 計画の目的 (P. 1)

今後の区における情報化の方向性を示すとともに、区民サービスの向上や情報システムの効率化・高度化等に向けた取組を推進するための計画である。

2 計画の位置づけ (P. 1)

ビジョンに基づく個別計画として、区の情報化の方向性を示す。(仮称)区政改革計画が進める取組を、より具体的に示す。各個別計画と整合を図り、情報化を推進する。

3 計画期間 (P. 2)

平成 28 年度 ~ 31 年度 (4 か年度)

第 2 章 現状と課題

1 情報化を取り巻く状況

(1) 社会の動向 (P. 3)

人口減少、高齢化のさらなる進展、ICT の急速な進化、公共活動の主体の多様化・拡大、東日本大震災を契機とした課題の明確化

(2) 我が国における情報化の動向 (P. 3)

インターネットの人口普及率の増加、持ち運びが可能な情報端末の普及
セキュリティに対する脅威の増大 (サイバー攻撃の巧妙化)
情報システムをクラウド型へ移行する企業の増加

(3) 行政における情報化の動向 (P. 5)

『「日本再興戦略」改訂 2015 (平成 27 年 6 月 30 日閣議決定)』などの策定
サイバーセキュリティ対策、マイナンバー制度の活用、オープンデータの利活用、
無料公衆無線 LAN の整備推進、クラウド化の推進などを提示
マイナンバー制度の開始と制度への対応
情報セキュリティ対策の抜本的強化

2 練馬区における情報化推進の状況と課題

(1) 練馬区情報化基本計画 (平成 22 ~ 26 年度) (前計画) の評価と課題 (P. 8)

5 つの目標、取組項目 17、検討項目 9 達成: 25 項目、一部達成: 1 項目
取組項目のうち、3 つの重点取組項目に評価指標を設定
6 指標中 1 指標において目標を若干下回ったが、総合的に見て達成と評価
クラウド化や共通基盤の活用など、継続して取り組むべき課題の推進

(2) 情報化に対する区民意識 (P. 10) 区政モニターアンケートより

スマートフォン、タブレット端末や SNS の利用の増加
「サービスがあることを知らなかった」、「必要な情報を見つけにくい」という意見
マイナンバー制度では、行政手続きの簡素化等の行政サービスの向上に期待
区役所に出向かなくても手続きができるサービスを求める意見
ICT の活用について区が進めた方がよい項目は、「個人情報の保護」が最多

(3) 区の情報システム形態の変遷 (P. 16)

「ホストコンピュータの活用期」にはじまり、現在は「クラウド型の黎明期」
「情報システムの効率化、高度化に向けた取組指針」に基づきクラウド化を推進

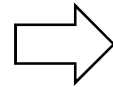
(4) 区における情報化の課題 (P. 17)

最新の ICT やマイナンバー制度を活用して、
ア 区民一人ひとりのニーズに対応したきめ細かな区民サービスの提供 イ 区民参加と協働のための情報の受発信の充実 ウ 行政運営の効率化の推進
大規模災害においても、可能な限り情報システムを継続して運用できる仕組みの整備や確実な情報セキュリティ対策の実施などによる、区民が安全かつ安心して生活できる環境の構築
ICT の動向を的確にとらえ、区の情報システムのあり方を見直すことにより、情報システムの効率化・高度化をさらに推進すること

第3章 計画の目標

1 情報化の基本理念 (P.18)

本計画はビジョンが示す新しい成熟都市をめざして、情報化の面から取り組むもの



情報化の基本理念

ICTを活用した区民生活の質の向上と効率的な区政運営の推進

2 目標 (P.18)

目標1：ICTやマイナンバー制度を活用したきめ細かな区民サービスの実現

ICTを積極的に活用し、区民生活の利便性の向上を図る。

区民一人ひとりのニーズに対応したサービス情報のわかりやすい提供・発信や、区民と区との双方向のやり取りを実現し、区政への区民参加や協働を推進する。

マイナンバー制度の導入に伴い、手続きにおける添付書類の削減や手続きの簡便化など区民サービスの向上を図るとともに、行政運営の効率化を進める。

目標2：情報化による区民の安全・安心を支える体制の強化

災害に強い情報システムの運用環境を整備し、災害時に迅速に対応できるように、情報システムの運用継続計画を策定する。

災害時に被害の拡大を防ぎ、区民の安全・安心を確保するため、情報連絡手段をさらに充実させるとともに、その実効性を高める。

マイナンバーをはじめとする個人情報の保護に万全を期するため、これまで以上に区における情報セキュリティ対策を強化・徹底する。

目標3：情報システムの効率化・高度化のさらなる推進

練馬区共通基盤への情報システムの集約を進め、当該情報システムに係る経費の2割削減、事業継続性やデータの安全性の向上、システム調達における競争性の向上、管理運用業務の効率化を図る。

上記以外の情報システムについても、クラウドサービスへの移行など、ICTを活用した情報システムの全庁的な見直しにより、さらなるシステムの高度化と効率的な運用を図る。

情報システムの運用に係る業務の集約などにより、経費のさらなる削減を実現する。

3 評価指標 (P.19)

計画全体の達成度を表すものとして、評価指標を設定

数値で継続的に測定でき、3つの目標において代表的な指標となるものを設定

【指標1】 情報化推進の区民満足度

【指標2】 データセンターを利用しているシステムの割合

【指標3】 情報システム経費の削減率

達成度は、この評価指標だけでなく、計画推進過程等の分析も行ったうえで総合的に評価

4 計画の施策体系 (P.21)

*印... (仮称) 区政改革計画に記載のある項目

目標1：ICTやマイナンバー制度を活用したきめ細かな区民サービスの実現

該当箇所

(1) ICTの活用による区民生活の利便性の向上

*	無料公衆無線 LAN の整備	情報政策課、広聴広報課、他	P.22
*	クレジットカード納付など新たな納付方法の導入	収納課、他	P.22
*	より利用しやすく効率的な公共施設予約システムの構築	地域振興課、情報政策課、他	P.23
*	利便性の高い窓口サービスの実現	戸籍住民課、情報政策課、他	P.23
*	学校教育における ICT 利活用の推進	教育施策課、光が丘図書館、他	P.24
*	オープンデータの推進	情報政策課、広聴広報課、他	P.24
*	ICTを活用した区政改革のための検討と人材の育成	情報政策課、他	P.25

(2) 区民一人ひとりのニーズにあわせた情報提供の充実と情報受発信の強化

*	子育て情報等に関する個人向け情報提供の充実	保健予防課、他	P.25
*	高齢者や障害者等が安心して生活できる環境づくりのための情報提供の充実	福祉部管理課、高齢者支援課、他	P.26
*	学習・文化活動や地域活動の活性化に向けた情報提供の充実	文化・生涯学習課	P.27
*	区民との協働による課題解決のためのシステムの導入	広聴広報課、他	P.27
*	練馬区の魅力発信の強化と区政情報の提供手段の充実	広聴広報課、情報政策課、他	P.28
*	練馬区公式ホームページのリニューアル	広聴広報課	P.29
*	区役所代表電話および区ホームページ「よくある質問と回答」の充実	総務課、広聴広報課	P.29

(3) マイナンバー制度導入による区民サービスの向上および行政運営の効率化の実現

*	マイナンバーカードを活用した各種証明書のコンビニ交付サービスの導入	戸籍住民課、情報政策課、他	P.30
*	マイナンバー制度の活用に向けた取組の検討	情報政策課、他	P.30
*	マイナンバー制度導入に伴う情報システムの改修・構築	情報政策課、他	P.31

目標2：情報化による区民の安全・安心を支える体制の強化

(1) 災害時における迅速かつ的確な対応体制の整備

*	情報システムの運用継続計画 (ICT-BCP) の策定	情報政策課、危機管理課、他	P.32
*	迅速かつ的確な対応のための情報の整備および共有	危機管理課、建築課、他	P.32

(2) 災害時等における円滑な情報収集・提供手法の確立

*	災害時における情報連絡手段のさらなる充実	防災計画課	P.33
②①	感染症の流行状況の円滑な情報共有	教育総務課	P.33

(3) 確実な情報セキュリティ対策の実施

*	②② 情報システムにおけるセキュリティ対策の強化	情報政策課、他	P.34
*	②③ 情報セキュリティポリシーの見直しと実効性の強化	情報政策課、情報公開課	P.35
*	②④ 特定個人情報の適切な管理・運用	情報公開課、情報政策課、他	P.36

目標3：情報システムの効率化・高度化のさらなる推進

(1) 全庁における情報システムの効率化・高度化

*	②⑤ 情報システムのクラウド化のさらなる推進	情報政策課、他	P.37
*	②⑥ 情報システムにおけるネットワークの最適化	情報政策課、総務課	P.37
*	②⑦ 情報システムの調達および運用におけるマネジメントサイクルの強化	情報政策課	P.38

(2) 業務改善や政策形成のための ICT の活用

*	②⑧ 業務集約化による経費節減と業務効率化の推進	情報政策課、他	P.39
*	②⑨ 業務改善のための職員証の IC カード化の検討	情報政策課、職員課、総務課	P.39
*	③⑩ 政策形成のためのデータの分析・活用	情報政策課、企画課、他	P.40